

上白水村について

春日市の前身は、明治22(1889)年に那珂郡の5村が合併した春日村です。

清らかな湧水に恵まれた上白水村は、下白水村の上流に位置します。白水八幡宮を祀る白水村が、400年前頃に二つに分かれ、上白水村が誕生しました。



▲春日市に属する旧村

春日市の歩み

明治22(1889)年
那珂郡5村→春日村

昭和28(1953)年
春日町(町制施行)

昭和47(1972)年
春日市(市制施行)



▲北山天神



▲天神ノ森天神

旧上白水村に残る農業の神さま「七天神」

働き者が多い上白水村には、天神山天神、天神ノ森天神、天神ノ木天神、馬場天神、倉前天神、北山天神、丹波天神と呼ばれる「七天神」が大切に祀られています。これは、それぞれ農業神(埴安神)から転化した神さまの呼び名です。

板碑(中世の供養塔)などの石塔をご神体とし、土地の人々の素朴な信仰心に守られてきました。農地がなくなると場所を移し、屋敷神としてひっそりと祀られています。残念ながら現在、天神山天神と丹波天神の所在は不明です。

地域の方々と一緒に 歩いて作ったマップです

実際に地域を歩いて、そこに残る文化財の魅力を知り地図にして伝えようと、令和7年5月31日(土)・6月7日(土)に「文化財マップ作りワークショップ 上白水の歴史を知らう!伝えよう!」を開催しました。

1回目は上白水公民館で講師の話を聞き、公民館の片隅に残る石碑からスタート。昔の人々の暮らしを思い起こしながら旧道を散策しました。

2回目は、散策したことや話を思い出しながら、参加者同士で気づいたことを地図に書き込み、夢中になってマップ作りを行いました。

ぜひ皆さんもこのマップで、上白水の歴史を訪ね歩いてみてください。



▲フィールドワークの様子



▲マップ作りの様子

春日市文化財マップ

上白水の歴史を 知ろう!伝えよう!



企画・編集：春日市 協働推進部 文化財課 発行日：令和7年10月

〒816-0861 春日市岡本 3-57 (春日市奴国の丘歴史資料館内)

TEL:092-501-1144 FAX:092-573-1077 Email:nakoku@city.kasuga.fukuoka.jp

歩いて訪ねよう！ 上白水地区の文化財マップ

<凡 例>



庚申塔



七天神(板碑)



保存樹木

↑至 福岡

弥生琴が出土した
(辻畑遺跡)

白水八幡宮
境内にあるもの



八幡宮の反り橋



八角井戸



注連掛け柱



武運長久御願成就祠



土地改良事業記念碑

仏さまのお告げを受け、
田の中から弥勒堂の石
仏が発見された



北山天神

保存樹木 くす



反り橋はかつて参道の
入り口に架かっていた



かみしろうずみろくどう

上白水弥勒堂

三重塔と並ぶ小堂の中に「みろくさま」と呼ばれる巨石が祀られる。現存する市内の石仏で最古とされるが、平成4(1992)年10月に火災で地蔵三尊像の姿が消失した。



しろうずはちまんぐう

白水八幡宮 神社

上白水区大町に鎮座する白水八幡宮(旧村社)は、上・下白水の産土として神功皇后、応神天皇、玉依姫命の三祭神を祀る。京都石清水八幡宮の勧請と考えられる神社で、創立は平安末期から鎌倉初期ごろと推測される。



こうしんとう さるたひこおかみ

庚申塔(猿田彦大神)

猿田彦大神は災いを防ぐ神と道案内の神で、上白水村の北の入り口にある。江戸時代の中ごろから庚申の神として信仰されるようになった。庚申の日は夜に眠ると命を縮め、眠らず過ごせば災難を逃れることができることされている。

中世「領主の館」推定地

保存樹木 クロガネモチ



昔は豊かな田畑が
一帯に広がっていた

ゴール！

上白水地区公民館

スタート！

倉前天神旧位置
(白水小学校横に移転)



馬場天神

大東亜戦争慰霊塔

いきいき通り(旧肥前街道)

↓至 那珂川



かみしろうずかんのんどう

上白水観音堂

乳峰寺の塔頭だった威徳庵は乳峰寺焼失後も寺院活動を続け、明治4(1871)年、太宰府の光明寺に合併吸収され廃庵となった。その周囲は墓地で、寺屋敷と呼ばれていた。上白水観音堂は廃庵後、信者により奉納されたもの。高さ30cmの石造千手観音菩薩と木造十一面観世音菩薩が安置されている。



華嚴山乳峰寺旧跡碑

博多承天寺の末寺とされた乳峰寺は、宝治2(1248)年に上白水村に開山したが、貞和4(1348)年に戦禍で焼失したと伝えられている。創建時の位置は確認できないが、昭和63(1988)年、門徒により寺屋敷に建てられた石碑。



優勝記念碑

上白水在郷軍人会が大正13(1924)年から16年間、銃剣道競技で連覇した偉業を讃えた碑。



てんじんのもりてんじん

天神ノ森天神

板碑などの石塔をご神体とする村内「七天神」の1つ。堂内には板状の石碑があり、両界大日如来を意味する陰刻の梵字と陽刻の蓮華座が彫られている。



天神山水城跡